

★効率的な調査のポイントと求められる精度とは！

セミナーNo.304506

調査範囲の設定！検索式の組み立て方！無効資料の探し方！権利の潰し方！



侵害予防調査と 無効資料調査の実際

- 日時: 2023年4月21日(金) 10:30～16:30
- 会場: Zoomを使用したLive配信セミナーです。
勤務先やご自宅のパソコンでご視聴ください。
- 聴講料: 1名につき 55,000円(消費税込, 資料付)
[1社2名以上同時申込の場合のみ1名につき49,500円(税込)]
[大学、公的機関、医療機関の方には割引制度(アカデミック価格)があります。]
- 講師: 秋山国際特許商標事務所 弁理士・博士(理学) 角淵 由英氏

【講演趣旨】特許調査の勉強をしてはみたが、実際に調査をしようとすると、どのように調査を行えばよいのか、適切に侵害予防調査を行うにはどうしたらよいのか、無効資料調査によって障害となる権利を的確に潰すには何が大切なのか悩む方が多いと思います。特許調査では、基本となる考え方を身に付けた上で、ルーティンとも言えるフレームワークに基づいて調査を実行することがポイントとなります。本セミナーでは、特許調査の初心者を対象に、多数の調査経験を有し、クリアランス業務や無効化業務にも従事する弁理士でもある講師が、単なる知識の教授に留まることなく、侵害予防調査と無効資料調査の“実際”を事例とともに詳説します。

1. 特許調査の基本

- (1) 特許調査の一般的な流れ
- (2) 調査手順のフレームワーク
- (3) 検索式作成の基本
- (4) 特許分類とキーワード
～特許分類の必要性～
- (5) 仮想事例①
～予備検索から本検索への流れ～
- (6) 特許分類の調べ方
- (7) キーワードの調べ方
- (8) 特許分類とキーワードを用いた本検索
- (9) 検索式の組み立て方
- (10) 検索式のチェックポイント、評価と修正
- (11) 近傍検索で効率よく文献を見つける

- (6) リスクに応じた調査範囲の設定
- (7) 仮想事例②～侵害予防調査の実際～
- (8) 侵害予防調査における検索式
- (9) 特許侵害の判断方法
～オールエレメントルール～
- (10) オールエレメントルールと検索式
- (11) 古い技術を調査して代替

3. 無効資料調査

- (1) 無効資料調査とは
- (2) 無効資料調査のポイント
- (3) 権利化の阻止および無効化
- (4) 無効資料の探し方
- (5) WEB情報の調査
- (6) クレーム解釈と無効論との関係
- (7) 進歩性を意識した調査
- (8) 仮想事例③～無効資料調査の実際～
- (9) 数値限定発明の潰し方
- (10) サポート要件からみたサーチ

【質疑応答】

講師紹介割引申込書

「侵害予防調査、無効資料調査」セミナー No.304506 4/21

- ・講師からの紹介として、聴講料を2割引させていただきます。
- ・2名同時申し込み割引との併用はできませんのでご了承ください。
- ・申込書に必要事項をご記入の上、FAX(03-5436-5080)にてお申込みください。
- ・当社(技術情報協会)への直接のお申込みに限り、割引を適用いたします。

会社名	事業所・事業部		
住所	〒		
TEL	FAX		
	所属部課	氏名(フリガナ)	E-mail
受講者1			
受講者2			
今後ご希望しない案内方法に×印をしてください(現在案内が届いている方も再度ご指示ください) [郵送(宅配便)・FAX・e-mail]			
個人情報の利用目的 ・セミナーの受付、事務処理、アフターサービスのため ・今後の新商品、新サービスに関するご案内のため ・セミナー開催、運営のため講師へもお知らせいたします			



TECHNICAL INFORMATION INSTITUTE CO.,LTD.

申込専用FAX 03-5436-5080

●申込方法

1. 申込書が届き次第、請求書・聴講券・会場案内図をお送りいたします。
2. お申し込み後はキャンセルできません。
受講料は返金いたしませんので、ご都合の悪い場合は代理の方がご出席ください。

3. 申込み人数が開催人数に満たない場合等、状況により中止させて頂く場合がございます。
4. 定員になり次第、申込みは締切となります。